



ケント紙

けんとし

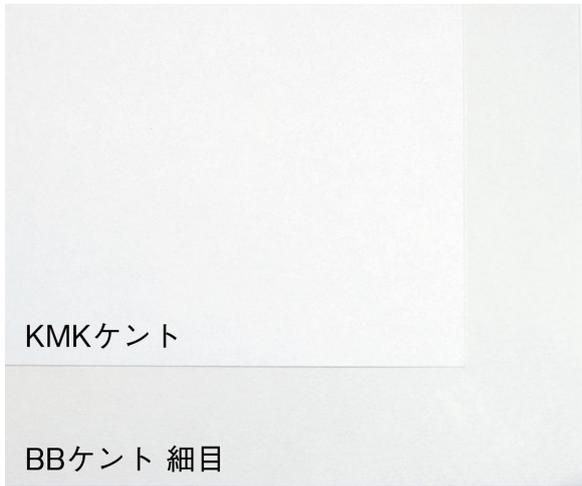


写真1. KMKケント紙のスケッチブック（パッド形状）

概要

ケント紙は、イギリスのケント地方にその名が由来する紙で、一般には化学パルプ100%を原料としています。平滑性が高く、適度な弾力性と厚みを持っており、鉛筆やペン、水性絵具など、多くの筆記具や画材と相性がよく、消しゴムを使った時に紙面の毛羽立ちが少ないのが特長です。ただし、水分によって伸縮しますから、水性絵具などの画材を用いる場合は、水張りをしてから使用すると良いでしょう。また、ケント紙の表裏を判別するのは難しく、手で触れたときに若干滑らかに感じる面が表側になります。

ケント紙は、たいへん幅広い用途を持った紙です。製図や建築パースをはじめ、グラフィックデザインやイラストレーションなどの平面構成、モデル製作のような立体構成にも使うことができます。またディスプレイやパッケージのデザイン用として、有色のケント紙を利用することもできます。

ケント紙は、サイズや厚さ（1平方メートルあたりの紙一枚の重量）によって様々な種類の商品があります。KMK ケント（サイズ：四六判・A 本判・10～30mのロール形状、厚さ：150g・200g・250g）は、製図用インクとも相性がよく、製図や建築パースで使われることの多い中性紙です。またバロンケント（サイズ：四六判、厚さ：150g・200g・250g）は、印刷用としても多く利用されています。BB ケント（サイズ：B 本判、厚さ：175g）は細目と荒目があり、コットンを原料としていて、表面にある程度の強度を持っている中性紙です。にじみが少ないため、緻密な描画に使うことができます。ホワイトピーチケント（サイズ：四六判、厚さ：150g・200g・250g）は比較的安価で、絵画やデザインの練習用としても広く利用できる中性紙です。他に、目の疲労を軽減するために、通常より白色度を抑えたものや、クリーム色のものがあります。ハガキと同じサイズのものや、パッド（紙の一端を糊付けしてつづったもの）になっているものもあります。

ケント紙は画材店などで購入することができます。

※写真中の紙色は、実際とは異なる場合があります。

あ
か
さ
た
な
は
ま
や
ら
わ
A
B
C
D
E
F
G
H
I
J
K
L
M
N
O
P
Q
R
S
T
U
V
W
X
Y
Z
数字

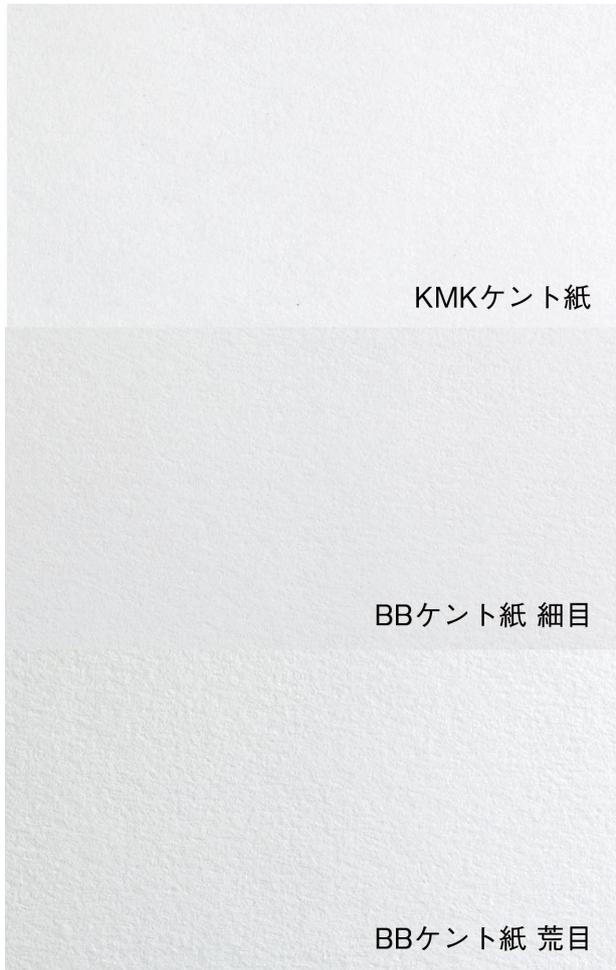


写真2. ケント紙各種 (拡大写真)



鉛筆



透明水彩



コンテ



墨汁



ペンインク



パステル



インクジェット

写真3. KMK ケント紙 (150g) における描画例 (拡大写真)

※描画例 (写真) は、用紙の特性や表現の可能性を示すためのテストサンプルであり、特定の描画材の使用を薦めているものではありません。(一般的には適していないとされる描画材もあえて使用しています。)